

- ・ルーブリックをもとにteamsに得点を入力し、コメントを具体的に記入すること。
- ・このシートは担任・マルチ担当者に提出後、返却されたら、ファイルに綴っておくこと。

() HR () 番

氏名	
----	--

「有法子」(1学期)ルーブリック(クラス発表会①) 60点

領域	評価観点	評価尺度			評価点	コメント
		10・9・8	7・6	5		
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。		
発表 (ポスター発表・プレゼンテーション)	A	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。	
		方法	研究目的に沿った研究方法が文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。	
	B	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。また、図、表、グラフ等が分かりやすく作成されている。	資料やデータがそろえられており、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している、または、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。	
		表示方法および発表の内容	明快な論理に基づいて構成されており、読み手/聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手/聞き手が理解しやすい表現となっている。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。内容構成が分かりにくく、読み手/聞き手は内容を理解できない。	
	C	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切である。グループで協力して発表し、役割分担も適切である。	原稿を見ることもあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。グループの協力と役割分担が一通りできている。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。グループの協力と役割分担が不十分である。	
		質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができている。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。	
合計点						

- ・ルーブリックをもとにteamsに得点を入力し、コメントを具体的に記入すること。
- ・このシートは担任・マルチ担当者に提出後、返却されたら、ファイルに綴っておくこと。

() HR () 番

氏名	
----	--

「有法子」(1学期)ルーブリック(クラス発表会②) 60点

領域	評価観点	評価尺度			評価点	コメント
		10・9・8	7・6	5		
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。		
発表 (ポスター発表・プレゼンテーション)	A	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。	
		方法	研究目的に沿った研究方法が文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。	
	B	分析と結果	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされている。また、図、表、グラフ等が分かりやすく作成されている。	資料やデータがそろえられており、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。	資料やデータが不足している、または、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。	
		表示方法および発表の内容	明快な論理に基づいて構成されており、読み手/聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手/聞き手が理解しやすい表現となっている。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。内容構成が分かりにくく、読み手/聞き手は内容を理解できない。	
	C	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切である。グループで協力して発表し、役割分担も適切である。	原稿を見ることもあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。グループの協力と役割分担が一通りできている。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。グループの協力と役割分担が不十分である。	
		質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができている。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。	
合計点						

- ・ルーブリックをもとにteamsに得点を入力し、コメントを具体的に記入すること。
- ・このシートは担任・マルチ担当者に提出後、返却されたら、ファイルに綴っておくこと。

() HR () 番

氏名	
----	--

「有法子」(3学期)ルーブリック(プレ課題研究) 60点

領域	評価観点	評価尺度			評価点	コメント
		10・9・8	7・6	5		
		求めているレベルを越えて達成している。	求めているレベルをおおむね達成している。	求めているレベルを達成するには大きな課題がある。		
発表 (ポスター発表・プレゼンテーション)	A	目的と仮説	研究目的や仮説が参考文献を踏まえて述べられており、その意義がよく分かる。	研究目的や仮説が述べられている。	研究目的や仮説が述べられていない。	
		方法	研究目的に沿った研究方法が先行研究や文献等を参考にしながら述べられている。	研究目的におおむね沿った研究方法が述べられている。	研究目的を達成する研究方法として不適切、または、十分とは言えない。	
	B	分析と結果・考察	豊富な資料やデータをもとに優れた分析がなされ、図、表、グラフ等が分かりやすく作成・配置されている。調査・研究結果を踏まえた考察が述べられており、考察を裏付ける根拠が明確である。	資料、データ、図や表、グラフ等がおおむね適切に作成されている。調査・研究結果を踏まえた論理的で客観的な考察が述べられている。	資料やデータが不足し、図、表、グラフ等が適切に作成されていない。考察が述べられていないか、考察として不適切である。	
		表示方法および発表の内容	明快な論理に基づいて構成されており、読み手/聞き手が内容を的確に理解することができる。	分かりやすい構成でおおむね論理的に述べられており、読み手/聞き手が理解しやすい表現となっている。	表示と文体に統一感がなかったり、文章構成が論理的でない。内容構成が分かりにくく、読み手/聞き手は内容を理解できない。	
	C	発表態度	原稿に頼らず自分の言葉で研究内容を説明し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度は適切である。グループで協力して発表し、役割分担も適切である。	原稿を見ることもあるが、言葉遣い、声の大きさ、話す速度についてはおおむね適切である。グループの協力と役割分担が一通りできている。	終始原稿を見ながら発表し、言葉遣い、声の大きさ、話す速度が適切ではない。グループの協力と役割分担が不十分である。	
		質疑応答	質問者の質問に対して、研究した内容に基づいた適切な応答ができています。	質問内容を把握して応答できているが、余分な内容が多くなったり情報が不足したりしているところもある。	質問内容を把握できないまま応答しているため、質問と答えとが対応していない。	
合計点						